

超入門「おうちde野菜」

※1 鉢サイズと土の量

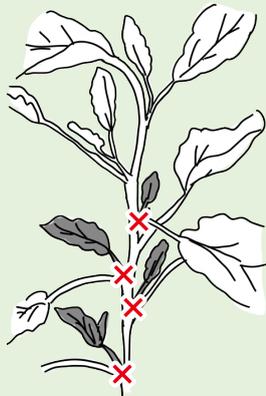
背丈が高くなり支柱が必要な野菜には、深さ 30 cm 程度の深鉢を。土が多ければ根がしっかり張り、育ちも良くなる。10号(直径 30 cm)の深鉢なら、培養土は 15ℓ 以上用意する。

※2 支柱

柱は育てる茎の数だけ必要。120cm 以上の長めのものがおすすめ。苗を植え付けたらすぐに株元から 10cm ぐらい離れたところに、鉢底に当たるまでしっかりと立てる。

※3 わき芽

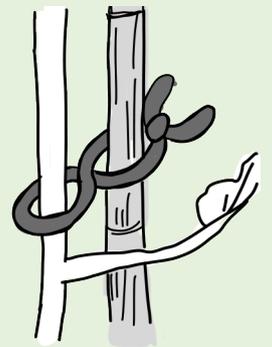
茎と葉のつけ根の間から伸びる芽のことで、成長すると「茎(側枝)」になる。必要以上にわき芽を残すと、養分が分散して良い実がつかなくなるため、小さいうちに指で摘み取る(わき芽かき)。わき芽は指でつまんで、軽く横に倒せば簡単にとれる。生長するにつれて次々にわき芽が出てくるので、こまめにチェック。



※4 誘引

伸びた茎が倒れないように、麻紐(紐なら何でも OK)などで支柱に茎を結び付けること。ひもをクロスさせて茎と支柱を 8 の字に結ぶ。茎は太くなるのでやわらかく結ぶ。園芸用ビニールタイも便利。

結び目は
支柱側にする



葉のつけ根の上で
結ぶとズレにくい

※5 水やり

水やりは「鉢穴から流れ出るまでたっぷり」が基本。但し、大量の水を一気にかけるのではなく、ドリップ式コーヒーを入れるように、チョロチョロと鉢土にまんべんなく行き渡るように与えるのが GOOD。

※6 肥料

「元肥入り」と書いてある培養土を使えば、その後の肥料は不要だと勘違いしているビギナーさんも。元肥の肥料分は植え付け後 1 カ月ぐらいで足りなくなる。立派な実をつけさせ、収穫期間を長くするには、定期的な肥料やり(追肥)は不可欠。